

# 図書館だより

NO. 119 2008年 1月号  
(2008年1月1日発行)

はつかいち市民図書館  
電話(0829)20-0333  
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

## 読書生活のススメ！

新年を迎え、真新しい手帳やカレンダーをめくり、希望や夢に胸をふくらませている人、昨年より今年がもっと充実した1年になるようにと願っている人。1年のスタートである1月は、そんな気持ちを胸に図書館に来館する人が多いのではないのでしょうか？

図書館では、1人でも多くの人に、読書を通じて豊かな人生を送ってもらえるようにさまざまな分野の本をそろえています。ときどき「どんな本を読んでいいのかわからない。」という声を耳にします。そこで皆さんが本を選びやすいよう、約20万冊の蔵書の中から毎月テーマを決めて展示を行っています。また、「今まで読んだ本の記録が図書館のコンピューターに残っていないか？」と聞かれることがあります。図書館では本が返却されると、個人情報保護のため、誰が何を借りたかという情報は消えるシステムになっています。そこで、『読書ノート』を作って、読んだ本の題名や心に響いた文章や言葉の記録など簡単なメモをとることをお勧めします。心に響いた本は、何度読んでも良いものです。“過去に読んだ本を読み返す”ことで、過去に感じたことと、今感じることを比べてみて、自分のおかれている状況を把握できることもあります。何度も繰り返し同じ本を読み深めていくことで、自分の生活や自分自身を見つめ直す“きっかけ”になることもあるかもしれません。

ストレス社会と言われる今日だからこそ“本から得る力”は、人生をより豊かなものにするための大きな助けになります。みなさんの役に立つ図書館になるよう今年も頑張っていきます。

## 今月の展示

### <さくらびあ展示>

『さくらびあ物語』—日本の古典芸能“落語”に関する本—

3月8日(土) さくらびあで「笑点」の公開録画が開催されます。「笑点」にちなんで“落語”の本を集めて展示しています。

### <中央展示>

『年男・年女 子年生まれの人の本』

舛添要一さん、毛利衛さん、山崎豊子さんなど、年男・年女を迎える著者の作品を集めて展示しています。

### <児童展示>

『ネズミの本と冬の本』

今年の干支はネズミ！外は寒～い冬。ふわふわセーターを着てでかけたくなります。今月はネズミの本と冬の本を集めました。

### <テーマ展示>

『一年の行事・一生の儀礼』

生活を彩る行事や儀礼に関する本を集めて展示しています。

みなさんからの「私のすすめる本」も引き続き募集しています。ご応募お待ちしております。

## 図書館員のすすめる本

一般書

『楊令伝1 玄旗の章』

北方謙三/著 F/キ 集英社

北方謙三の『水滸伝』（全19巻）待望の続編です。個性豊かな登場人物達が中国を舞台にして、男性だけではなく女性も活躍し、一段とスケールアップした世界が描かれています。『水滸伝』で一度滅びた「梁山泊」。「梁山泊」生き残りの頭領を心の拠り所にして、様々な人たちが集まり、新たな戦いが開始されます。『水滸伝』から読んでも『楊令伝』から読んでも楽しめます。登場人物が多いので自分の好みの人物を見つけて感情移入をして読んでみるのもおもしろいと思います。シリーズ物なので次巻が出版されるのが楽しみです。

(図書館職員)

一般書

『風に舞いあがるビニールシート』

森絵都/著 F/モ 文芸春秋

6つの短編からなる作品。表題になっている「風に舞いあがるビニールシート」は秀作です。国連で難民事業に携わるエドはアフガニスタン難民のソワイラをかばって銃弾に倒れる。元妻で同僚でもあった里佳は、それを知り動揺するが、自分もエドと同じ“フィールド（戦地や被災地）”に出る決心をする。

エドの死は、2人の女性（里佳とソワイラ）の人生に大きな影響を与えた。決してエドの死が無駄になったわけではない。エドの崇高な愛は、次々と代をかえて受け継がれていく。エドの生き方が、里佳やソワイラへ転生したと言ってもいい…。

(図書館職員)

## 今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆ ★ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆ ★

- 『「神社と神さま」がよくわかる本』島崎晋/著 PHPエディターズ・グループ 170/シ
- 『乙女みやげ』甲斐みのり/著 小学館 291.0/カ
- 『働く女性が子どもを産むときに読む本』北条麻木/著 ロコモーションハブリッキング 366.3/ホ
- 『気持ちよくわかる数列』朝香豊/著 ベレ出版 413.2/ア
- 『したたかな生命』北野宏明・竹内薫/著 ダイヤモンド社 461/キ
- 『手をとるように知的財産権がわかる本』荒船良男/著 かんき出版 507.2/ア
- 『くりかえしレシピ』日本放送局出版/編 596/ク
- 『動物看護師になるには』井上こみち/著 ペリかん社 649.0/イ
- 『はじめての茶の湯』大橋宗乃/監修 日本文芸社 791/ハ
- 『草野球をとことん楽しむ』降旗学/著 新潮社 S783.7/フ
- 『耳を澄ませば聴こえてくる音の日本語』山下景子/著 PHP研究所 810.4/ヤ
- 『静けさに帰る』加島祥造・常津良一/著 風雲舎 914.6/カ
- 『南極で考えたこと』立松和平/著 春秋社 915.6/タ
- 『カツラ美容室別室』山崎ナオコーラ/著 河出書房新社 F/ヤ
- 『ウエザ・リポート』宇江佐真理/著 PHP研究所 914.6/ウ
- 『歴史を記録する』吉村昭/著 河出書房新社 914.6/ヨ
- 『純愛の証明』森村誠一/著 実業之日本社 F/モ

# あたらしく入った本 こどものほん

## 『ゆきだるまくん、どこいくの?』

たむらしげる 偕成社 E/夕

男の子が作ったゆきだるま。だれも見えてないすきにスキーをはいて、気持ちよく滑っていたけれど、クマにぶつかり…。怒ったクマに追いかかれたゆきだるまくんは、びゅんびゅんと逃げます。最後のページまでスピード感あふれる絵本。

## 『ソルビム2ーお正月の晴れ着ー』

ペヒョンジュ絵と文 ピョンキジャ訳 セーラー出版 E/ハ  
オモニ（お母さん）が心を込めて縫ってくれたお正月のための晴れ着ソルビム。お正月の朝、パジやチョコグリを男の子が順々に着ていきます。すがすがしさと華やかさが、画面いっぱいに広がります。女の子編もあります。

## 『大問題！ Jr. ー第一線の科学者が考えた最先端クイズ40問40答ー』

東京理科大学編 オーム社 404/夕

「恋をするとドキドキするのはなぜ?」「ドラえもんの道具は本当に作れるの?」「私たちの体をつくるのに必要な情報は、百科事典だと何冊分?」などの質問に科学的に答えています。解説は小学校高学年の子どもたちにも理解できるように書かれています。

## 『ぼくの「生きる力」ー院内学級から小学校へ『直紀新聞』とどけますー』

あんずゆき文 佼成出版社 916/夕

院内学級は大きい病院にある学校。前田直紀くんは1年～3年生まで小児ガンと闘いながら院内学級で勉強したり遊んだりしました。直紀くんは心の架け橋にしたいと、クラスメートへかべ新聞を届けました。

## 『おまじないつかい』

なかがわちひろ作 理論社 913/夕

わたしのお母さんは、でかける時に火打ち石をたいて見送ったり、忘れ物防止の呪文を唱えます。みんなのお母さんはそんなことをしないのに。不思議に思ったわたしが聞くと、お母さんは「じつは、おまじないつかい」だと言うのです。

## 『リボン』

草野たき ポプラ社 913/夕

亜樹の中学校の卓球部は、卒業式に制服のリボンを先輩からもらう伝統がある。「波風を立てない」主義の亜樹は、義理でもらおうとして先輩から断られた。進級してから卒業までの一年間、15歳の少女の心の移り変わりをリアルに描いた物語。

## ミニブックトーク 今年の干支のねずみが活躍するお話

『スニッピーとスナッピー』は、双子の野ねずみが毛糸玉をころがし、野原をどんどのぼっておりて家の中へ、チーズを探し当て大喜びしたけれど…。リズムカルな絵と文が楽しいお話。ドドさんの家に住む子ねずみは「やかましやのヤカちゃん」と呼ばれるほど大声の持ち主です。そのヤカちゃんが活躍する物語が『番ねずみのヤカちゃん』です。

さて次は動物ファンタジー、『子ねずみラルフのぼうけん』はオートバイを乗りこなせる子ねずみラルフと少年の心の交流を描いた物語。

さらに、次の2冊は動物ファンタジーの中でも、幅広い年齢層の読者を魅了する物語で、どちらもシリーズになっています。ネズミたちの友情と冒険を描いた物語『冒険者たち』は、島ネズミ忠太の頼みで、ドブネズミのガンバと仲間の船乗りネズミたちが、島ネズミを救おうと夢見が島へ。そこを支配するイタチのノロイ一族との闘いは壮絶です。また『くらやみ城の冒険』のミス・ピアンカは大使のぼうやに飼われているねずみで、気品溢れる貴婦人ねずみ。第一巻では彼女が仲間とともに無実の詩人をくらやみ城から救出します。ミス・ピアンカが活躍する物語シリーズは全7冊。

『スニッピーとスナッピー』ワンダ・ガアグぶん・え さくまゆみこやく あすなる書房 1999 933カ

『番ねずみのヤカちゃん』リチャード・ウィルバーさく 松岡享子やく 大社玲子え 福音館書店 1992 933リ

『子ねずみラルフのぼうけん』ベバリー・クリアー作 谷口由美子訳 赤坂三好絵 童話館出版 1996 933リ

『冒険者たち』齋藤惇夫作 藪内正幸画 岩波書店 1982 913リ

『くらやみ城の冒険』マージェリー・シャープ作 渡辺茂男訳 ガース・ウィリアムズ絵 岩波書店 1987 933リ

# 平成20年度おはなし会日程調整会

はつかいち市民図書館では、毎月第1・3金曜日と第2・4土曜日に「おはなし会」を開催しています。この「おはなし会」は、図書館職員とボランティアが協力して行っているものです。20年度の「おはなし会」の日程調整を行いますので、「おはなし会」に興味がある人、学校や地域で活動されている人はぜひご参加ください。

**日 時 平成20年2月7日（木）**

**10:00～12:00**

**場 所 廿日市市役所7階会議室**

**内 容**

- ・平成20年度「おはなし会」の日程調整
- ・図書館職員による新刊児童研究書の紹介
- ・わらべうたのミニ講習会

## 1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1 休館	2 休館	3 休館	4 休館	5
6	7 休館	8	9	10	11	12 ☆
13	14	15 休館	16	17	18 ◎	19 ■
20	21 休館	22	23	24	25	26 ☆
27	28 休館	29	30	31 休館		

◎…ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆…おはなし会

【対象】幼児から小学校低学年

【時間】11時～

■…ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児から大人まで

【時間】11時～

いずれも【場所】は

図書館会議室です

※特別整理期間のため、大野図書館は1月29日

(火)～2月8日(金)まで休館します。

